

竹田恒和東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会理事長の発言を受け、「第32回東京オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議」がなされた。

その後、佐藤広副知事が決議に対するお礼を述べた。

竹田理事長及び佐藤副知事の発言内容は以下のとおり。

<竹田理事長発言>

ご紹介にあずかりました竹田でございます。

本日は皆様方の大変貴重なお時間の中で発言する機会をいただきまして、心から感謝を申し上げます。

2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会招致は、日本スポーツ界の総意として取り組んでいるところでございまして、現在、実現に向けて東京都と招致活動を進めているわけでございます。

まだ正式な国際招致活動を行う段階ではございませんが、海外を回った感触では、日本を励まそうというそういった雰囲気を感じております。今回は必ずこの招致を勝ち取りたいという決心でございます。

今回は、オールジャパンで招致活動を進めるために招致委員会の中に「評議会」を立ち上げました。広く各界から参画いただいております。全国知事会からも山田会長をはじめ、被災県代表として達増知事、村井知事、そして佐藤知事にも評議会の委員をおつとめいただいております、大変力強く思っております。

また、先般は、国会におきまして招致決議をいただきました。この決議は国際オリンピック委員会に対し、国が全力をあげて招致に取り組んでいることをアピールできるわけでございまして、大変ありがたく受け止めております。

つきましては、この招致に対する国を挙げての支援をより一層強力に示すためにも、ぜひとも全国知事会としても招致支援を決議いただきたく、お願いにまいりました。どうぞ皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。



<佐藤副知事発言>

東京都副知事の佐藤でございます。

全国知事会として招致支援の決議をいただき、誠にありがとうございます。これで、招致について国を挙げての支援を改めて、強力にアピールできます。

今後とも、招致の実現に向け、オールジャパンの体制のもと招致活動にまい進してまいります。

引き続き、皆様方のご理解、またご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

